

令和4年度 静岡県老人福祉施設協議会

東部支部事業計画

(概要)

新型コロナウイルスの世界的席卷が長期にわたり、昨年は、我が国のワクチン接種が進み、一年遅れの東京オリンピック開催後の感染拡大も、年末には収まる様相でしたが、年明けからは感染力の極めて強い変異株のオミクロンが世界中で広がり、我が国も大感染の大きな波が押し寄せました。

昨年10月一年で任期満了した菅内閣の後継に、自民党総裁選を経て岸田内閣が発足した。世界情勢は米中関係やウクライナ・ロシア情勢などの緊張、世界的な自然災害・気象災害・コロナ禍の世界経済の行方等で不安定となっており、我が国も米中関係・台湾・朝鮮半島情勢・また国内のコロナ感染状況・経済回復の道程や・少子高齢人口収縮に対応し経済・財政・公共政策の再編は不可避であり、今後の公共政策の動向と変化から目が離せない状況です。

静岡県老施協・東部支部では、昨年度のコロナ禍で大幅変更した会議研修等の中止を踏まえ、令和4年度は、新たな役員体制の基、静岡県老施協と密接な連携を通して、クラスター発生施設への応援派遣体制の確保、介護ロボット・ICT活用等の技術導入・外国人介護労働、介護職員の長期的賃金改定、介護報酬の行方などの諸課題の中で、激変下でも地域社会に貢献できる、持続可能な老人福祉施設を目指して、公益的で良質なサービスの研鑽に努め、東部支部会員相互の連携を図り、本年度の活動として、以下の事業を実施する。

1. 会議の開催

- (1) 県老人福祉施設協議会の事業並びに各委員会の運営実施及び協力
- (2) 総会及び役員会の開催(総会 7月・2月)(役員会 5月・7月・10月・2月)
- (3) 支部企画推進会議の開催(県老協連携の推進及び支部企画)

2. 研修会等

- (1) 施設災害時相互応援協定に基づく防災訓練の実施(11月頃)
- (2) 施設長・職員研修会(2月総会・研修)
- (3) リモート静岡県高齢者福祉研究大会への運営協力(9月頃)

3. 事業活動

- (1) 圏域及び地区活動への支援助成(各地区への研修・イベントへの助成)
- (2) 県老施協の活動との連携
- (3) コロナ感染発生施設への応援職員派遣体制の維持

令和4年度 静岡県老人福祉施設協議会

東部支部 収支予算書

(収入の部)

(単位: 円)

科 目	A 当年度予算額	B 前年度予算額	A-B 増減額	内 容
助 成 金	200,000	200,000	0	県老協より助成金(令和3年度実績)
会 費	0	0	0	参考 定員50名以上 84施設×¥10,000=¥840,000 定員49名以下 28施設×¥ 5,000=¥140,000
負 担 金	400,000	460,000	△ 60,000	当日徴収会費等(2月) 研修会・交流会・宿泊代
雑 収 入	100	100	0	普通預金利息
繰 越 金	4,000,000	3,500,000	500,000	
収入合計	4,600,100	4,160,100	440,000	

(支出の部)

(単位: 円)

科 目	A 当年度予算額	B 前年度予算額	A-B 増減額	内 容
講 師 料	250,000	250,000	0	研修講師への謝礼金
会 議 費	300,000	300,000	0	役員会4回開催、総会2回開催
研 修 費	450,000	850,000	△ 400,000	研修1回開催
助 成 金	200,000	200,000	0	
通 信 費	70,000	70,000	0	事務連絡・会議資料送付費用
消耗品費	50,000	50,000	0	会議・研修・事務局事務消耗品費用
慶弔費	100,000	100,000	0	慶弔規程による
手 数 料	30,000	30,000	0	振込手数料等
雑 費	400,000	400,000	0	災害支援
予 備 費	2,750,100	1,910,100	840,000	
支出合計	4,600,100	4,160,100	440,000	

※科目間流用を認める